

4. お客様の利益を最優先とした資産運用の実践

「お客様基点」のもと、生命保険という商品の負債特性を踏まえながら、安全かつ有利の原則に従い、将来にわたって高水準の運用収益を確保する資産運用に努めてまいります。

【取組み】

- ・ お客様からお預かりした大切な保険料の運用にあたっては、目先の収益に惑わされることなく中長期にわたり安定的なリターンが得られる優良な資産を積み上げていくことを実践しております。
- ・ お客様の利益を最優先とした資産運用に努めるとともに、生命保険業の公共性を踏まえ、資産運用を通じ社会的責任を果たしていくことに努めてまいります。
- ・ また、国連責任投資原則（PRI）¹の署名機関として、持続可能な社会の実現への貢献も目指してまいります。
- ・ 時代の変化に即応できるポートフォリオを構築すべく、資産の流動性を確保しつつ、中長期的な視点から資金を配分しています。具体的には、ALM（資産・負債の総合管理）の観点から、公社債・貸付などの円金利資産を柱としつつ、それを補完し、収益性の向上を図るため、許容されるリスクの範囲内で外国証券や株式、不動産といった資産への分散投資を行っています。特に最近では、超低金利環境が長期化するなかでも安定した収益性を維持するため、これまでの自己資本の充実度を踏まえ、外貨建資産を中心に、よりリスク・リターン効率に優れた投資を実践するよう努めております。
- ・ お客様にお約束した利回りを安定的に上回るリターンを確保するため、中長期的な観点から資産運用の高度化に努めてまいります。
- ・ 当社は「責任ある機関投資家の諸原則《日本版スチュワードシップコード》」の受け入れを表明しており、主要投資先企業との建設的な「目的を持った対話」（エンゲージメント）に注力しております。投資先企業とのエンゲージメントや議決権行使などのスチュワードシップ活動が、投資先企業の持続的成長を促し、お客様からお預かりした大切な保険料の中長期的なリターンの拡大に資するよう努めてまいります。
- ・スピーディな意思決定と機動的な対応による差別化された資産運用の実践という当社の運用哲学を継承し、また、継続的に資産運用の高度化を進めていくための人材育成に注力してまいります。

¹ 国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）とは、国際連合が、機関投資家に対し、環境（Environment）・社会（Social）・企業統治（Governance）のESG課題を投資の意思決定等に組み込み、受益者のために長期的な投資成果を向上させることなどを提唱した原則。